

令和5年度 大阪府立伯太高等学校運営協議会 第1回議事録

令和5年6月10日（土）10:00～12:00

記録：中村

協議会委員参加者（敬称略）

金田 優美 （令和5年度PTA会長）
田中 恒子 （地域教育相談員）
山野 正広 （和泉市総務部 人権・男女参画室長）
原田 尚史 （和泉市立和泉中学校長）

学校教職員参加者

片山 造 （校長）
北出 眞理 （教頭）
津田 等 （事務長）
小川 敏和 （首席・進路指導部長）
中村 友香 （首席）

その他参加者

横山 創一 （生徒指導部長）

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員・校内事務局紹介 会長・副会長 選出 （会長：金田 副会長：山野）
- (3) 43期生の進路状況（小川首席）
- (4) 令和5年度使用教科書について
- (5) 校内授業見学
1年：公共・化学基礎 2年：英語Ⅱ
- (6) 生徒指導に関する取り組みと現況 生徒指導部（横山教諭）
- (7) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について
- (8) 「スクールミッション」「スクールポリシー」について
- (9) 意見交換
- (10) 校長謝辞

[主な報告、質問、意見等] ◇は報告内容、○は質問、→は答え、●は意見や感想

進路指導関係

- ◇43期生 進路先について 進学 65% 就職 30%弱 未定 数名
- ◇コロナの前と比べ、看護医療分野の進学が多くみられた。(今年は10名程度)
- ◇入試の方式・ルールがかわった。具体的には、総合選抜型でプレゼン形式の試験が増えた等があげられる。
- ◇専門学校への進学が減少し、大学進学が増加している傾向がみられる。
(将来について大学在学中に考えたいという生徒が多くみられる。)
- ◇就職の内定率は高い数値を維持している。分野によって求人はずざままで偏りがあり、生徒のニーズに合致していないこともある。
- ◇進路アンケートの結果は、例年より1年生の未定者が多い。3年間、見通しをもって家庭でも話してもらおうよう保護者にもお願いしている。
- ◇就職の分野としては、男子は技能、女子は事務が人気の傾向はかわらず。看護・介護は安定して希望する生徒が多い。
- ◇看護・医療系の専門学校が生徒募集に苦戦している模様。閉校する学校もでてきている。一方で、看護学部を設置する大学が微増している。

生徒指導関係

- ◇学籍異動について
 - 2年生に関しては入試において定員割れしたことが原因しているのではないかと。私学から転入してくる生徒もいる
 - 私学からの転入は可能なのか?
 - 現在は可能です。年に3回転入のための機会が設けられている。
- ◇今年度は指導方法を見直した。例えば遅刻指導において『課題』ではなく、教員が話をするなど粘り強い指導を行う。指導の形を変更したことで、生徒からの挨拶・会話が aumentata。また教員側にも寄り添うことへの意識ができてきた。ここからさらに教員の『指導力』をスキルアップさせていくことが大切。
- ◇頭髪については、長期休暇中にやはり染髪する生徒が多いので、学校のルールを念頭に置いて行動できるように話をしている。『高校生らしい』従来の頭髪指導に関しては見直しと緩和をおこなった。
- ◇マナー・モラルについては、登下校時の自転車や公共の場における行動について、近隣より今年度も厳しいご意見もいただいているのが現状。
- ◇欠席・遅刻数については、時間を守ることに強い意識付け(余裕をもった時間管理)をできるように粘り強く指導していく。
 - 登校時間ギリギリに入ってくる生徒はいますか?登校時間を早めるなどしてはありますか?
 - います。常に生徒自身のために時間を守ることを大切だということを伝えている。
- ◇懲戒案件については、『なぜいけないのか』を、対話を通じて丁寧に指導していく。
- ◇世情に合わせた指導を心掛けているとともに、生徒に対しても保護者に対しても丁寧な対応を心掛け、ともに生徒を育んでいく。

その他

◇使用教科書について

生徒が理解しやすく興味をもてるような教科書を選定してもらっている。

○校内におけるデジタル化が進んでいるのでしょうか？

→徐々に進んでいる。働き方改革をうけて欠席連絡もフォームを使用しているものを導入した。

生徒はタブレット端末を学校の授業や活動において使用ができるよう推進している。

●小学校ではほとんど持ち帰って課題をしている。小学校から中学校、高校と進んでいくうちに、持ち帰り課題は減少しているように思う。

◇意見交換

○学校が落ち着いてきている。行事ごとを見ていると一目瞭然である。自分をもっている生徒の育成を！

→府立学校において、授業が成立しない学校が激減している。先生との関係性についても好転してきており、生徒との信頼関係も築けてきているように思う。

○中学校では進路指導（学校決定）をどのようにされているのだろうか？

→生徒の状況に応じた学校を薦めているので、高校も特色をもって情報を発信することが大切。

（薦めやすい）

○私立学校の無償化についてどんな動きがありますか？

→教育庁においては、公立学校を特色化・魅力化し、どう存続させていくかを検討しているところ。

校長より

○生徒としっかり向き合い、「生徒が主語」の学校にしていくことが重要。協議会での意見・地域からの意見をしっかりと吸い上げ、いい学校づくりをしていきたいと思えます。今後とも応援の程よろしくお願いいたします。